

## 今昔物語集の形容詞対照語彙表

——天竺・震旦部——

村田 菜穂子\*<sup>1</sup> 前川 武\*<sup>2</sup> 山崎 誠\*<sup>3</sup>

### A Contrastive Lexical List of Adjectives in the *Konjaku Monogatari-Shu (Tales of Times now Past)* —Tenjiku-Bu (Indian Section) and Shintan-Bu (Chinese Section)—

Nahoko Murata\*<sup>1</sup> Takeshi Maekawa\*<sup>2</sup> Makoto Yamazaki\*<sup>3</sup>

#### 日本語要旨

本稿は、語彙史研究の基礎データとしてこれまで作成してきた「古代語形容詞の語構成」・「八代集の形容詞対照語彙表」・「中古散文作品の形容詞対照語彙表」・「訓点資料の形容詞の語構成」・「軍記物語の形容詞対照語彙表」に続く形容詞語彙表として、『今昔物語集』の「天竺・震旦部」で使用された形容詞の用例数が巻毎に一覧できるようにした対照表である。

#### Abstract

This is a contrastive lexical list of adjectives in the *Konjaku Monogatari-Shu (Tales of Times now Past)*—Tenjiku-Bu [Indian Section] and Shintan-Bu [Chinese Section] arranged by volume. It is the sixth in a series of articles on the vocabulary in ancient Japanese texts. Previous articles are: *Word Structure of Ancient Adjectives*, *Contrastive List of Adjectives in the Hachidashu*, *Contrastive List of Adjectives Used in Prose Works in the Heian Period*, *Contrastive List of Adjectives Used in Kunten Materials*, and *Contrastive Lexical List of Adjectives in the Gunki Monogatari*.

#### キーワード

今昔物語集 天竺・震旦部 形容詞 対照語彙表

#### Keywords

*the Konjaku Monogatari-Shu, Tenjiku-Bu, Shintan-Bu, adjectives, contrastive vocabulary list*

\* 1 むらた なほこ：大阪国際大学短期大学部准教授（2008.12.11受理）

\* 2 まえかわ たけし：大阪国際大学短期大学部准教授

\* 3 やまざき まこと：独立行政法人国立国語研究所研究開発部門言語資源グループ長

## I はじめに

日本語形容詞・形容動詞語彙の史的 연구를推し進めるために、これまで『形容詞・形容動詞の語彙論的研究<sup>(注1)</sup>』において、①「古代語形容詞の語構成」・②「八代集の形容詞対照語彙表」・③「中古散文作品の形容詞対照語彙表」・④「中古散文作品の形容動詞対照語彙表」・⑤「訓点資料の形容詞の語構成」といった基礎資料を作成・公表し、これらを用いて形容詞・形容動詞についての計量的分析や語構成様式の史的展開の様相等を分析・考察してきた。<sup>(注2)</sup>

また、引き続き⑥「今昔物語集の形容動詞対照語彙表<sup>(注3)</sup>」・⑦「軍記物語の形容動詞対照語彙表<sup>(注4)</sup>」・⑧「軍記物語の形容詞対照語彙表<sup>(注5)</sup>」を公表し、前掲①～⑤と比較分析を行うことによって形容詞・形容動詞語彙から見た各作品の特質などを考察してきた<sup>(注6)</sup>

さらに今回、先に示した基礎資料に続いて『今昔物語集』を取り上げ、先の語彙表と同様に、『今昔物語集』でどのような形容詞が使用され、また、それがどのくらいの回数ずつ使用されているかが一覧できる対照語彙表の作成を行いたい。

なお、語彙表の作成に際しては、『今昔物語集』という作品が全31巻（第8巻・第18巻・第21巻は欠巻）という膨大な作品であること、また、巻によって文体的差違の大きいことを踏まえ、全体を天竺・震旦部（第1巻～第10巻）、本朝仏法部（第11巻～第20巻）、本朝世俗部（第21巻～第31巻）の3部分に分けて扱うこととし、本稿では天竺・震旦部で使用された形容詞についてどのような形容詞がどの巻にどれくらい使用されているかが一覧できる形式にて対照語彙表を作成した。

## II 編集基準ならびに語彙表の見方

語彙表の編集は、拙著②③の編集方針にほぼ従う形で、[1] 見出し語の配列 [2] 見出し語形の統一 [3] 助詞・助動詞（補助動詞を含む）を介在させている語および接頭辞が付いた語の扱い [4] 複合語の扱い [5] 漢字 [6] 活用についてはそれを踏襲し、さらに [7] 今昔物語集（天竺・震旦部）における各見出し語の使用率と、すでに公表している上代資料・八代集・中古散文作品・訓点資料・軍記物語<sup>(注7)</sup>における各見出し語の出現状況が把握できるよう、[8] 五資料における出現状況を記載している。

※凡例

[1] 見出し語の配列

歴史的仮名遣いにより五十音順に配列する。

[2] 見出し語形の統一

意味の違いに関係しない読み方・発音の違いは同一語とみなし合併して採る。同一語・別語の認定は『古語大事典』〔小学館〕・『日本国語大辞典』〔小学館〕に拠る。

例…ねむたし→ねぶたし、あひなし→あいなし等。

この他、今昔物語集（日本古典文学大系）には「～+方ナシ」のよみがな（校注者に拠る）として、例えば「可<sup>タトフベ</sup>警<sup>ハウ</sup>キ方無シ」「可<sup>タトフベ</sup>警<sup>カタ</sup>キ方無シ」のように、「方」に「ハウ」「カタ」の二とおりのよみが付されているが、両者の使い分けに一定のルールが認められず、「ハウ」とよむ必然的理由が見出せないことや、これまでに取り上げた資料の中に「～+ハウナシ」という形容詞が一例も見られないことを鑑み、大系で「～+ハウナシ」とよみがなが付された形容詞は「～+カタナシ」に含めた。

以下、「～+ハウナシ」とよみがなが付された形容詞の前項要素を挙げておく。  
思遣（オモヒヤ）ル、荅（コタフ）ル、可為（スベ）キ、為（セ）ム、可立隠（タチカクルベ）キ、可尋（タツヌベ）キ、可警（タトフベ）キ、可逃（ノガルベ）キ、可遁（ノガルベ）キ、可申（マウスベ）キ、可見付（ミツクベ）キ、寄付（ヨリツ）ク  
なお、助動詞が付いている語の扱いは次の〔3〕に従っている。

〔3〕 助詞・助動詞（補助動詞を含む）を介在させている語および接頭辞が付いた語の扱い

助詞・助動詞（補助動詞を含む）を介在させている語形、および接頭辞がついた語形は次のように扱った。

- (1) 助詞・助動詞（補助動詞を含む）を外した語形が上代資料・八代集・中古散文作品・訓点資料・軍記物語に存在する場合は、助詞・助動詞（補助動詞を含む）を外した語と合併して採る。

例…いふかひもなし→いふかひなし、やるかたもなし→やるかたなし等。

例…いはむかたなし・いふべきかたなし→いふかたなし、とりまうしがたし→とりがたし、ゆるされがたし→ゆるしがたし等。

- (2) 助詞・助動詞（補助動詞を含む）を外した語形が上代資料・八代集・中古散文作品・訓点資料・軍記物語に存在しない場合は、助詞・助動詞（補助動詞を含む）を外した語形を仮の語形として設定し立てる。

例…うとましげもなし→うとましげなし、まじりもなし→まじりなし等。

例…かきつくさむかたなし→かきつくすかたなし、すべきかたなし・せむかたなし→するかたなし、そしられなし→そしりなし等。

- (3) 接頭辞の付いた語の扱い

例…おんころたがひなし→ころたがひなし、おんころづよし→ころづよし

のように、接頭辞を外した語形で採る。

〔4〕 複合語の扱い

名詞+形容詞（例…おくふかし・かひなし）や動詞連用形+形容詞（例…ありがたし・はべりにくし）等は切り離さず複合的な単位として認め、一語として扱う方針によって形容詞を選出した。これは、形容詞の造語法として複合語の産出が新語形成の一端を担っている事実を重視したことに拠る。

[5] 漢字

各形容詞の主な意味を表すために適宜振ったもの。

[6] 活用

各見出し語がそれぞれ何活用の形容詞であることを示したもの。

[7] 今昔物語集（天竺・震旦部）における各見出し語の使用率

各見出し語が今昔物語集（天竺・震旦部）においてどの程度使われているか（使用率）を、各見出し語の延べ語数÷今昔物語集（天竺・震旦部）における形容詞全体の延べ語数で算出したもの。

[8] 既存の五資料における出現状況

各見出し語がどの資料に使われているかを簡潔に示すべく、その見出し語が使われた資料に○を施した。

### Ⅲ 調査に際して使用した資料

『今昔物語集<sup>(注8)</sup>』一～五（日本古典文学大系）

『今昔物語集自立語索引<sup>(注9)</sup>』

『今昔物語集文節索引<sup>(注10)</sup>』一～三一

#### 【付記】

本稿は、日本学術振興会平成19—22年度科学研究費補助金（基盤研究（C）課題番号19520407）による研究成果の一部である。

- 注1 村田菜穂子著 [2005・11和泉書院]。元は、①『大阪国際女子大学紀要』27-1 [2001・9]、④『大阪国際女子大学紀要』26-2 [2000・9]、⑤『大阪国際大学紀要国際研究論叢』17-1 [2003・10]
- 注2 前稿（1）「八代集の形容詞—語構成論的考察—」『帝塚山学院大学日本文学研究』32 [2001・2]（拙著第一篇第一章および第二章の一部）・前稿（2）「平安時代の形容動詞—ゲナリと～カナリ—」『国語学』52-1 [2001・3]（拙著第三篇第二章の大部）・前稿（3）「上代形容詞の語構成」『国語語彙史の研究』20 [2001・3和泉書院]（拙著第一篇第一章および第二章の一部）・前稿（4）「八代集の形容詞—語彙の計量的分析—」『甲南国文』48 [2001・3]（拙著第一篇第一章および第二章の一部）・前稿（5）「中古散文の形容詞—語彙の数量的分析—」『表現研究』74 [2001・10]（拙著第一篇第二章第一節および第二節の一部と第三篇第一章の一部）・前稿（6）「古代語形容詞の造語形式—中古散文の形容詞を中心に—」『帝塚山学院大学日本文学研究』33 [2002・2]（拙著第一篇第二章第五節の大部）・前稿（7）「語構造から見た古代語形容詞—二つの系列—」『帝塚山学院大学日本文学研究』34 [2003・2]（拙著第一篇第二章第三節の一部）・前稿（8）「古代語形容詞の語構造分析についての一考察」『国語語彙史の研究』22 [2003・3和泉書院]（拙著第一篇第二章第三節の一部）・前稿（9）「古代語形容詞の階層構造」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』16-2 [2003・3]（拙著第一篇第二章第四節の大部）・前稿（10）「上代形容詞の継承性と中

古新出の形容詞』『滋賀大國文』41 [2003・7] (拙著第一篇第二章第二節の一部)・前稿 (11)「訓点資料の形容詞—語彙の量的性格—」『帝塚山学院大学日本文学研究』35 [2004・2] (拙著第一篇第二章第一・二・三・五節の一部)・前稿 (12)「中古形容詞の量的性格—既存の形容詞と新出の形容詞—」『滋賀大國文』42 [2004・7] (拙著第一篇第二章第二・三・五節の一部)・前稿 (13)「中古形容詞における特有語の性格」『帝塚山学院大学日本文学研究』36 [2005・2]・前稿 (17)「形容詞・形容動詞語彙の量的構成—中古散文作品を中心に—」『日本語学』25-5 [2006・4]

注3 『大阪国際大学紀要国際研究論叢』18-2 [2005・1]

注4 『帝塚山学院大学日本文学研究』38 [2007・2]

注5 『大阪国際大学紀要国際研究論叢』21-3 [2008・3]

注6 前稿 (14)「今昔物語集の形容動詞—語種からの分析—」『国語語彙史の研究』24 [2005・3 和泉書院]・前稿 (15)「今昔物語集の形容動詞—ゲナリと〜カナリ (一)—」『滋賀大國文』43 [2005・7]・前稿 (16)「今昔物語集のカナリ型形容動詞」『帝塚山学院大学日本文学研究』37 [2006・2]・前稿 (18)「軍記物語の形容動詞の一考察」『国語語彙史の研究』26 [2007・3 和泉書院]・前稿 (19)「形容詞の生産性に関する一考察」『表現研究』86 [2007・10]・前稿 (20)「軍記物語の形容詞についての一考察—上代形容詞・中古形容詞との比較を交えて—」『国語語彙史の研究』28 [2009・3発行予定 和泉書院]

注7 拙著(注1)第一篇第一章および拙文(注5)第一章参照。

注8 1959・3-1963・5 岩波書店。語形を確定するうえで、新日本古典文学大系『今昔物語集』一〜五(1993・5-1999・3)を参照したものがある。

注9 馬淵和夫監修・有賀嘉寿子編 [1982・2 笠間書院]

注10 馬淵和夫監修 [1970・9-1981・8 笠間書院]

国際研究論叢

今昔物語集の形容詞対象語彙表 一天竺・震旦部一

No.	上代	訓点	八代	中古	軍記	見出し語	漢字	活用	卷1	卷2	卷3	卷4	卷5	卷6	卷7	卷9	卷10	計	使用率(%)
1					○	あいなし		ク				1						1	0.03
2		○	○	○	○	あかし	赤	ク	1		1		3	3	4	6	8	26	0.68
3	○			○	○	あかし	明	ク		1					1			2	0.05
4			○	○		あけがたし	開難	ク									1	1	0.03
5	○	○	○	○	○	あさし	浅	ク			1			2		1	3	7	0.18
6	○		○	○	○	あし	悪	シク	2	1	8	5	7	2	1	6	19	51	1.33
7						あたなし	穢無・仇無	ク	1							1		2	0.05
8		○	○	○	○	あたらし	新	シク		3				1	1	1	1	7	0.18
9			○	○	○	あぢきなし	味気無	ク	1									1	0.03
10	○	○	○	○	○	あつし	厚・敦	ク						1	3	1		5	0.13
11	○	○	○	○	○	あつし	暑・熱	ク	2	2			1	2	1	1	7	16	0.42
12		○		○		あはし	淡	ク							1			1	0.03
13		○	○	○		あひがたし	逢難	ク		1								1	0.03
14	○	○	○	○	○	あまねし	遍・普	ク	2	2	2		2	3		2	1	14	0.36
15	○	○	○	○	○	あやし	靈異・奇・怪	シク			4	6	5	3	1		10	29	0.75
16	○	○	○	○	○	あらし	荒・疎	ク			1	1	1					3	0.08
17	○			○	○	ありがたし	有難	ク	1	1	2	1	4	2	1	4	3	19	0.49
18				○		ありなし	有無	ク		1				1		1		3	0.08
19	○	○		○	○	あをし	青	ク	1			1	2		3	5	11	23	0.60
20				○	○	いかめし	厳	シク					4	1		1	1	7	0.18
21	○	○	○	○	○	いたし	痛・甚	ク		1					1		4	6	0.16
22				○		いたまし	痛	シク	1									1	0.03
23						いたみなし	痛無	ク							1			1	0.03
24				○		いたりがたし	至難	ク							1			1	0.03
25	○	○		○		いづくし	嚴	シク	1		1	1	1				4	8	0.21
26	○		○	○	○	いとほし	労・愛	シク				1	1				3	5	0.13
27			○	○	○	いとまなし	暇無	ク			2							2	0.05
28	○	○		○		いふかし	不審	シク			1	1		1	1		1	5	0.13
29				○		いふかたなし	言方無	ク				1	2	2	1		2	8	0.21
30		○				いふことなし	言事無	ク	5			1	1	1		2		10	0.26
31				○	○	いみじ		シク				1	4				3	8	0.21
32	○	○	○	○	○	いやし	賤・卑	シク		2	5	2	2			1		12	0.31
33			○			うしろやすし	後安	ク					1					1	0.03
34	○	○	○	○	○	うすし	薄	ク	1	1	1	3			1			7	0.18
35	○	○	○	○	○	うたがはし	疑	シク					1					1	0.03
36				○	○	うたがひなし	疑無	ク	2	1	3	3	1	2	2	2	2	18	0.47
37		○		○	○	うつたかし	堆	ク					1					1	0.03
38		○	○	○	○	うとし	疎	ク									1	1	0.03
39			○	○	○	うとまし	疎	シク			1		1					2	0.05
40	○					うまし	旨・甘・美・味	ク				1		1				2	0.05
41						うみがたし	産難	ク					1					1	0.03
42	○	○		○	○	うるはし	麗・美	シク	1		3	2	1	1	3		4	15	0.39
43	○		○	○	○	うれし	嬉・歎	シク			1	1						2	0.05
44						うれへなし	愛無・思無	ク								1		1	0.03
45		○		○		えがたし	得難	ク		4				1	1			6	0.16
46						おこたりなし	怠無・緩無	ク									2	2	0.05
47	○	○	○	○	○	おそし	遅・鈍	ク	1	2	3	1	2			3	4	16	0.42
48						おそれなし	恐無・悔無	ク									1	1	0.03
49			○	○	○	おそろし	恐	シク	1	1	2	1	12		2	1	8	28	0.73
50	○	○	○	○	○	おなじ	同	シク	3	10	14	11	9	10	8	11	3	79	2.05
51					○	おびたし	夥	シク					1					1	0.03
52	○	○	○	○	○	おほし	多・大	ク	21	29	8	34	23	32	26	22	29	224	5.82
53				○	○	おほし	思	シク		1								1	0.03
54	○		○	○	○	おほつかなし	思覺無	ク					1					1	0.03
55	○	○	○	○	○	おもし	重	ク	1	8	8	4	9	12	12	12	7	73	1.90
56	○		○	○	○	おもしろし	面白	ク					2				1	3	0.08
57					○	おもひえがたし	思得難	ク					2					2	0.05
58					○	おもひがたし	思難	ク					1					1	0.03
59					○	おもひやるかたなし	思遣方無	ク				1						1	0.03
60					○	かうばし	香	シク	1	5		2	1	1	1		4	15	0.39
61		○	○	○	○	かざりなし	限無	ク	44	48	27	45	44	37	39	49	40	373	9.69

今昔物語集の形容詞対照語彙表 —— 天竺・震旦部 ——

No.	上代	調点	八代	中古	軍記	見出し語	漢字	活用	卷1	卷2	卷3	卷4	卷5	卷6	卷7	卷9	卷10	計	使用率(%)
62	○	○	○	○	○	かしこし	恐・畏・賢	ク	4	5	1	1	3	2			26	43	1.12
63	○	○	○	○	○	かたし	固・堅	ク	1	1			1		5	4		12	0.31
64	○	○	○	○	○	かたし	難	ク		1	2	1	1	1		1	1	8	0.21
65	○	○	○	○	○	かたじけなし	辱・忝	ク	1	1	4	1	1					8	0.21
66	○	○	○	○	○	かなし	悲・哀・愛	シク	1	1	3	6	3	3	1	3	2	23	0.60
67			○	○	○	かひなし	甲斐無	ク	2	1		1	5				2	11	0.29
68						かへしがたし	返難	ク		3								3	0.08
69	○		○	○	○	からし	辛・鹹・酷	ク		1		1	1					3	0.08
70		○		○	○	かろし	軽	ク		1				2	3	1	2	9	0.23
71			○	○		ききがたし	間難	ク		1								1	0.03
72			○	○	○	きびし	厳・密	シク							1	1		2	0.05
73	○	○	○	○	○	きよし	清	ク	3	1	2	2	1	3	5			17	0.44
74						くぎふしがたし	供給難	ク								1		1	0.03
75		○	○	○		くさし	臭	ク		2	3	1	1	5	2		3	17	0.44
76				○	○	くちをし	口惜	シク			1		1					2	0.05
77	○	○		○	○	くはし	妙・細・詳	シク	1							1	1	3	0.08
78	○	○	○	○	○	くらし	暗	ク		2		1		3	2	4	2	14	0.36
79	○	○	○	○	○	くるし	苦	シク	1							1	2	4	0.10
80		○	○	○		くれがたし	暮難	ク									2	2	0.05
81	○	○	○	○	○	くろし	黒	ク			3			3	2	5	1	14	0.36
82						けあし	気悪	シク									1	1	0.03
83				○	○	けうとし	気疎	ク					1					1	0.03
84				○	○	けだかし	気高	ク			1	1		2	2	1		7	0.18
85		○		○	○	けはし	険	シク					1					1	0.03
86				○	○	こころうし	心愛	ク				1						1	0.03
87				○		こころえがたし	心得難	ク					1					1	0.03
88	○			○	○	こころぐるし	心苦	シク									1	1	0.03
89	○	○	○	○	○	こころなし	心無	ク	1		2						1	4	0.10
90			○	○	○	こころほそし	心細	ク									1	1	0.03
91			○	○	○	こころもとなし	心許無	ク									1	1	0.03
92			○	○	○	こころやすし	心安	ク				1	2					3	0.08
93		○		○	○	こころよし	快	ク		1	1			1				3	0.08
94			○	○	○	こころよわし	心弱	ク	1									1	0.03
95			○	○	○	こし	濃	ク			1						3	4	0.10
96						こたふるかたなし	答方無	ク					1					1	0.03
97	○	○	○	○	○	ことなし	事無	ク			1							1	0.03
98				○		ことわりなし	理無	ク								2		2	0.05
99	○			○	○	こひし	恋	シク				4					3	7	0.18
100	○	○		○		さかし	賢	シク		3								3	0.08
101	○	○		○	○	さがし	険・峻	シク			2	2	2	1		1	1	9	0.23
102						ささへえがたし	支得難	ク									1	1	0.03
103			○	○		さだめがたし	定難	ク		1								1	0.03
104			○	○	○	さだめなし	定無	ク	2			1						3	0.08
105	○			○		さとし	聡	ク									1	1	0.03
106						さとりがたし	悟難・識難	ク								1		1	0.03
107						さとりなし	悟無	ク		1	1		1	1				4	0.10
108		○				さばりなし	障無	ク				2					2	4	0.10
109				○		さまあし	様悪	シク				2						2	0.05
110	○	○	○	○	○	さむし	寒	ク	1						1	5	1	8	0.21
111				○	○	さがりがたし	去難・避難	ク			1							1	0.03
112			○	○	○	さがりげなし	然気無	ク			1							1	0.03
113						さるげなし	然気無	ク									2	2	0.05
114			○	○	○	さわがし	騒	シク				1						1	0.03
115	○	○	○	○	○	しげし	繁・茂	ク				1	2	1	1	1	6	16	0.16
116		○		○	○	したし	親	シク		1	1	3	1	2	5	3	5	21	0.55
117			○	○	○	しのびがたし	忍難	ク									1	1	0.03
118						じひなし	慈悲無	ク	1	1								2	0.05
119						じゃうじがたし	成難	ク							1			1	0.03
120		○		○	○	しりがたし	知難	ク		1		1	3	1		1		7	0.18
121	○		○	○	○	しるし	知・灼・著	ク									1	1	0.03
122	○	○	○	○	○	しろし	白	ク	3	1	1	3	7	2	2	10	6	35	0.91
123				○		しんじがたし	信難	ク					1					1	0.03
124	○	○	○	○	○	すくなし	少	ク				3	1	2	3	11	5	25	0.65
125	○	○	○	○	○	すずし	冷・涼	シク	3						1		1	5	0.13

国際研究論叢

No.	上代	訓点	八代	中古	軍記	見出し語	漢字	活用	卷1	卷2	卷3	卷4	卷5	卷6	卷7	卷9	卷10	計	使用率(%)
126						ずちなし	術無	ク				2	2				1	5	0.13
127		○				すてがたし	捨難	ク					1					1	0.03
128			○	○	○	するかたなし	為方無	ク			1	1	5	1			7	15	0.39
129	○	○	○	○	○	せばし	狭	ク			1		3		1		2	7	0.18
130						そねまし	憎・嫌	シク								1		1	0.03
131		○				そむきがたし	背難	ク			1		1					2	0.05
132	○	○	○	○	○	たかし	高	ク	14	6	8	12	26	4	6	8	10	94	2.44
133						たがふことなし	違事無	ク	2	1				5	6	7	1	22	0.57
134						たがふところなし	違所無	ク						2				2	0.05
135						たくはへなし	貯無	ク	4									4	0.10
136			○	○		たぐひなし	類無	ク		3			2				2	7	0.18
137	○		○	○	○	たけし	武・猛	ク	4	4	1		5				12	26	0.68
138		○		○	○	ただし	正	シク	2						3	2		7	0.18
139						たちかゝるかたなし	立隠方無	ク					1					1	0.03
140						たづぬるかたなし	尋方無	ク									1	1	0.03
141						たとひなし	譬無	ク						2				2	0.05
142						たとふるかたなし	譬方無	ク			1			1			1	3	0.08
143	○	○	○	○	○	たのし	楽	シク		1		1	1					3	0.08
144	○	○		○	○	たふとし	貴・尊	ク	3	4	4	9	2	7	3	3	1	36	0.94
145		○		○	○	たへがたし	堪難	ク	4	1	6	6	5	6	6	3	3	40	1.04
146	○	○		○	○	たやすし	輒・容易	ク	4	4		1	1	2	2	3		17	0.44
147			○			たゆみなし	弛無	ク				1						1	0.03
148				○	○	たよみなし	便無	ク					1					1	0.03
149	○	○	○	○	○	ちかし	近	ク	2	2	6	5	3	1	10	4	7	40	1.04
150		○		○	○	ちからなし	力無	ク			1	1	3					5	0.13
151	○	○		○	○	ちひさし	小	ク	2	1	1	5	3		3	5	1	21	0.55
152	○	○	○	○	○	つたなし	怯・拙	ク	1		3	2	1		4	2	2	15	0.39
153	○					つつがなし	無惡・無事	ク							1	1		2	0.05
154			○			つつまし	慎	シク			1							1	0.03
155		○				つみなし	罪無	ク				1	1			8		10	0.26
156						つゆなし		ク								1		1	0.03
157	○	○	○	○	○	つよし	強	ク	2	3	1	3	3		1	1	5	19	0.49
158		○	○	○	○	とがなし	咎無・過無	ク		2	1	2		1	1	1		8	0.21
159						とげがたし	逐難	ク	1				1					2	0.05
160	○	○	○	○	○	とし	利・敏・疾	ク	1			3	1	1	1		1	8	0.21
161						とどこほりなし	滯無・滯無	ク									1	1	0.03
162	○	○	○	○	○	とほし	遠	ク	6	10	8	7	4	7	12	10	13	77	2.00
163	○	○		○	○	ともし	乏	シク	4	5			3		1	1	2	16	0.42
164						とりのけがたし	取去難	ク				1						1	0.03
165	○	○	○	○	○	ながし	長	ク	16	3	9	8	5	4	3	10	8	66	1.71
166						なさけなし	情無	ク				3						3	0.08
167	○	○	○	○	○	なし	無	ク	102	109	50	101	83	47	63	108	132	795	20.65
168		○				なほし	直	ク									1	1	0.03
169	○					なまぐさし	生臭	ク						1	2			3	0.08
170						ならひがたし	習難	ク							1			1	0.03
171		○		○	○	ならびなし	並無・双無	ク	2	20	2	8	12	1	1		8	54	1.40
172		○				なりがたし	成難	ク								1		1	0.03
173						なれなれし	馴馴	シク			1							1	0.03
174						にがし	苦	ク				1						1	0.03
175	○		○	○	○	にくし	憎	ク	1		1							2	0.05
176						にぶし	鈍	ク							1			1	0.03
177	○		○	○	○	ねたし	嫌・妬	ク				1		1			2	4	0.10
178						ねぢけし	拗	ク				1						1	0.03
179						のがるかたなし	遁方無	ク				1	1		1	1	2	6	0.16
180				○	○	のがれがたし	遁難	ク		1				1	1		4	0.10	
181			○	○		のこりなし	残無	ク								1		1	0.03
182			○	○		はかなし	果無・果敢無	ク	1		1		4					2	0.05
183		○				はかりがたし	量難	ク	1	1								2	0.05
184				○		はかりなし	計無・量無	ク	2	4	4	1	2	3	1		1	18	0.47
185				○	○	はしたなし	端	ク	1									1	0.03
186						はちなし	慙無・慚無	ク			1	1						2	0.05
187	○		○	○	○	はづかし	恥	シク	1	1		3					1	6	0.16
188						はなちかへしがたし	放返難	ク						1				1	0.03
189	○	○	○	○	○	はやし	早・速	ク		5		2	4		4	5	1	21	0.55

今昔物語集の形容詞対照語彙表 —— 天竺・震旦部 ——

No.	上代	調点	八代	中古	軍記	見出し語	漢字	活用	卷1	卷2	卷3	卷4	卷5	卷6	卷7	卷9	卷10	計	使用率(%)
190					○	ひきし	低	ク					1					1	0.03
191	○	○	○	○	○	ひさし	久	シク	5	10	7	6	5	9	12	9	11	74	1.92
192		○	○	○		ひとし	等・斉	シク	1	1	3	1	2	2	1	1	3	15	0.39
193			○	○	○	ひまなし	隙無・暇無	ク	3	2		2				1	2	11	0.29
194	○	○	○	○	○	ひろし	広	ク	5	5	1	2	8	7	8	3	10	49	1.27
195	○	○	○	○	○	ふかし	深	ク	9	24	17	21	28	21	14	40	13	187	4.86
196			○	○	○	ふたごころなし	二心無	ク									1	1	0.03
197				○	○	ふたつなし	二無	ク				1						1	0.03
198	○	○		○	○	ふとし	太	ク			1						1	2	0.05
199	○	○	○	○	○	ふるし	古・旧	ク		5		2	2			7	8	24	0.62
200						へだつることなし	隔事無	ク										1	0.03
201				○	○	ほいなし	本意無	ク	1								1	2	0.05
202	○		○	○	○	ほし	欲	シク									1	1	0.03
203	○	○		○	○	ほそし	細	ク									2	2	0.05
204		○	○	○	○	ほどなし	程無	ク				2	1		1			4	0.10
205						まうすかたなし	申方無	ク					1					1	0.03
206						まかりいでがたし	罷出難	ク					1					1	0.03
207		○	○	○	○	まさし	正	シク	1			1		4	1	2	2	11	0.29
208	○	○		○	○	またし	全・完	ク	2		1		5	1	3	2	1	15	0.39
209				○	○	またなし		ク					1		1		1	3	0.08
210	○		○	○	○	まちかし	間近	ク									1	1	0.03
211	○	○		○		まづし	貧・貧窮	シク	8	16	9	14	3	8	2	6	2	68	1.77
212						まぬかれがたし	免難	ク				1						1	0.03
213		○		○		みがたし	見難	ク				1						1	0.03
214	○	○	○	○	○	みじかし	短	ク					1	1		1	1	4	0.10
215						みつくるかたなし	見付方無	ク					1					1	0.03
216	○			○	○	みにくし	醜	ク	2	2	7	1						12	0.31
217				○		むつかし	難	シク			1	1						2	0.05
218	○	○	○	○	○	むつまし	親・睦	シク		1			2					3	0.08
219	○	○	○	○	○	むなし	空・虚	シク	4	2	2	3	1	3	1	4	2	22	0.57
220	○		○	○	○	めづらし	珍	シク								1		1	0.03
221			○	○	○	めでたし	愛	ク	4	3	1	2	7	1			6	24	0.62
222						もとめえがたし	求得難	ク		2								2	0.05
223				○		ものおそろし	物恐	シク			1							1	0.03
224				○	○	ものさわがし	物騒	シク					1					1	0.03
225				○		やくなし	益無	ク			2	5	3		2	4	4	20	0.52
226	○		○	○	○	やさし	恥・優	シク									2	2	0.05
227	○	○	○	○	○	やすし	安・易	ク	6	1	2	4	2	2	1	4	2	24	0.62
228		○		○	○	やむごとなし	止事無	ク	3	4	2	5	5	11	3	1	3	37	0.96
229				○		ゆゑなし	故無	ク		2							1	3	0.08
230				○		ようなし	用無	ク				1						1	0.03
231	○	○	○	○	○	よし	良・好・善	ク	8	3	3	2	4	1	2	12	15	50	1.30
232		○		○	○	よしなし	由無	ク			2		1	2				5	0.13
233			○	○	○	よぶかし	夜深	ク									1	1	0.03
234						よりがたし	寄難	ク						1				1	0.03
235						よりつくかたなし	寄付方無	ク								1		1	0.03
236				○	○	よろこばし	喜・悦	シク			2		3					5	0.13
237	○	○		○	○	よろし	宜	シク							1	4	1	6	0.16
238	○		○	○	○	よわし	弱	ク				1				1	1	3	0.08
239	○	○	○	○	○	わかし	若	ク	2	1	1	8	1	1	7	4	9	34	0.88
240			○	○		わすれがたし	忘難	ク			1				1	1	1	4	0.10
241						わたりえがたし	渡得難	ク					1					1	0.03
242		○	○	○	○	わづらはし	煩	シク					1	1				2	0.05
243	○		○	○		わびし	侘	シク					1				1	2	0.05
244			○	○	○	わりなし	理無	ク					2					2	0.05
245		○		○	○	わろし	悪	ク							1			1	0.03
246				○	○	をかし	可笑・可笑	シク		1								1	0.03
247				○	○	をこがまし	痴	シク					1					1	0.03
248				○	○	をさなし	幼	ク	1	1		1	3	1		2	2	11	0.29
249	○	○	○	○	○	をし	惜・愛	シク		2								2	0.05